

令和5年 第12回教育委員会（会議録）

令和5年12月13日（水）

午前9時00分～

坂祝町中央公民館 会議室

日程第1 開会

出席委員確認

教育長 三品芳則

教育委員 古田博英

教育委員 兼松 悟

教育委員 原口かおり

教育委員会事務局 教育課長 堀部芳章

教育委員会事務局 こども課長 岩井正義

教育委員会事務局 教育課主幹 若泉貴弘

（欠席）教育委員 金武千秋

報告事件説明

坂祝幼稚園 主任 武市智美

坂祝小学校 教頭 後藤祐至

坂祝中学校 教頭 原田芳樹

※教育長が開会を宣言する。

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

教育長

11月17日、北方町立北方学園の南学園の視察に行きまして。南学園は、坂祝小・中学校とほぼ同規模の児童生徒数の学校でございます。旧北方南小学校と北方南小学校を卒業した中学校の生徒が卒業した小学校の校舎へ戻って再出発したものであります。新校舎を建設したわけではなく、増築と校舎内のリフォームで対応しておりおました。以前、北方中学校は問題行動も多かった中学校ではあります、義務教育学校に再変されて中学校が大変落ち着いたと聞いております。また、平成29年に町長が北方学園構想を12月議会で発表され、令和元年に基本計画が策定され、令和5年4月には開校されるというスピード感が印象に残りました。続いて11月22日、可茂地区教育長会がありました。その時に所長のお話の中で印象に残ったことをお話しします。校長の学校経営力が問われる現状においてあらゆるハラスメントに対して組織的に対応していくこと。また、様々なトラブル事案について関係職員だけの経験とせず、全教職員が一体となって研修し、学び合える。こんな体制を構築してほしいという話がありました。また、最近、岐阜県教育委員会の教職員の懲戒処分発表の新聞等記載されていますが、今後さらに難しい処分発表があると聞いております。坂祝町内において

も各職員の気を引き締めて、指導してほしいと校長会で話しました。12月7日、12月定例議会における総務委員会で、大王製紙の施設見学に行き参りました。坂祝町の大王製紙の工場内は、主に倉庫として使用していました。可見市土田にある大王製紙の工場を見学させていただきました。大変驚いたのは、広大な敷地面積にも関わらず、そこに従事している職員の少なさです。職員は少なくほとんどがコンピュータ制御により原料から製紙ができるまでを管理していました。例えば、ティッシュペーパーができる過程においては、全てがAIによるコンピュータに管理されている。唯一手作業が行われていたのは、不良品としてはじかれたティッシュペーパーの箱を開けて1枚1枚確認して、再利用できているかどうかを確認していました。そこだけが唯一手作業でした。それ以外は、全て機械でやっておりました。以前、AIが人間の仕事の半分を奪うといわれて、久しく10年が経とうとしています。企業担当者の方にこんなことを聞いてみました。どのような人材を求めているのか聞いたところ、工場ではコンピュータが、ほぼ全て管理されています。それを活用できるそのシステムを作りあげるとするのはほんの少数で良い。それ以外の多くの職員は誰でも使えるようなシステムで作ることを努力している。同時に求める人材としては誰とでも協力して、目標に向かって問題を解決できる人。また、人の意見を聞きながら自分の意見を表出できる人。これは今、小学校や中学校で求めているコミュニケーション能力のある人材を育てるということと、同じことだなと感じて戻って参りました。今の小学校や中学校の主となる部分は間違えていないなということを確認して戻って参りました。

古田教育委員 教育実習について、自分たちの頃は間違えていたのかもしれませんが、40年前は、深夜の12時位まで指導を受けて、この記事に書かれていたように指導案を何度も書き直されて、難しいな、必要だなということは感じましたし、それで何か力をついたということはありませんが、仕事の大変さということは十分にわかったような気がしました。先ほど小学校の先生、中学校の先生も言いましたが、現実に対応して、できるだけやる気もてるような対応ということで、それは仕方ないのかなと思いました。

教育長 可茂地区教育長会でもこの話をございまして、現役の大学生にアンケート調査をとってみると、教育実習でのブラックさとか、教育実習に行ったのですが、私は何をしたらよいのだろうか。はっきりとした指示もないのに、長時間路頭に迷っているということが実は教員採用希望を減らしているという現実には直面していると、私たちも指導をされました。それぞれの市町村の校長会でも、学校で教育実習を受け入れる際には良い思いをして実習を終えるようと県教委から指導を受けました。教頭先生たちも、あのような配慮のもと指導しているのだと思います。

兼松教育委員 坂祝町の町民まつりの時にバンビーニの伊藤館長にお会いしました。そこで伊藤館長から「遊びに来てください。」と言われまして、バンビーニというのは意外と孤独なのだと思います。自分たちが努力しているところを

見て欲しい。認めてもらいたいという気持ちがあるのかなと思いました。放課後児童クラブや給食センターも一生懸命やっているのですが、ただ試食するのではなくて、異物混入等、努力していることをたまには施設見学を決めて入れていただけるとありがたいと思います。

原口教育委員 11月、12月と研修を受ける機会が結構ありまして、印象に残ったことをお話しいたします。不動産ですので重要事項説明という宅地建物取引士としての重要な仕事があるのですが、その時に弁護士の先生が言ったのが印象に残っていて「わからない」という言葉自体が説明の一つで、わからないという言葉を出すためにどれだけ調べたかかという実績、例えば、役場へ行ってもわからなかった、どこへいってもわからなかったと言われたことが心に刺さりました。そのままわからないことを報告することも大切だなと思いました。最近、相続の相談が仕事上いくつかありまして、相続診断士の資格を取ることにしました。知らないうちに法律というのは変わっているということで、改めて新しい法律の更新をアップデートしていくことが大切だと実感したところです。

日程第4 議事

(報告事件)

報告第38号 坂祝町立幼稚園、坂祝小・中学校における2学期の教育実践及び冬季休業中の指導について

※幼稚園主任、小学校教頭、中学校教頭が資料に基づいて報告をする。

古田教育委員 どうもありがとうございました。限られた時間の中で上手に発表してください、よく様子が分かる説明をいただきありがとうございました。感想ということで幼稚園の運動会の関係で最初の方の段階から見させていただきましたが、その時にICTを活用して、前年度の様子を動画で見せたと思うのですが、それを見たときに実際に運動会を見たときに、子どもたちは本当に誇らしげに見せてやるというように演技していたのが印象的でした。昔では考えられないことですが、ひょっとしたら子どもたちはどのように見られるのかということイメージしていて、とてもプラスに作用しているのだなということを感じました。ICTの活用に関しては無理に使うのではというような立場ではなくて、有効的に使われているというのは良いなと思いました。それから中学校の方で印象に残っているのは、小さい乳児と保護者とお子さんを活動の報告からありましたが、学校と乳幼児がある程度連携が取れていると感じました。24人と大変だと思うのですが、継続的にやられているのだとわかりました。これからも続けていただきたいなと思いました。小学校の教頭先生の通信のタイトルだと思うのですが耐雪梅花麗も心の大切ですが、本当に最近思ったわけですが、それにぴったりの言葉に子どもたちに紹介していただくのはありがたいなと思いました。中学校については、この後先生に聞きたいことの1つですが、職場体験学習の大変さを実感することが難しいことですが、すごく大事なことだと思います。

ます。先生方にお聞きしたい内容が中日新聞に載っておりましたので、お聞きしたいと思います。この前、教育委員会の研究総会に参加したのですが、教育実習に参加した学生さんの感想が中日新聞に載っておりました、教育実習に参加してどうだったのかということですが、実習先によってはブラックな職場環境があり、そのような体験がある実習生の感想として、実習に参加する前に指導案を作らされたというような感想がありました。ただ、実習に参加した学生さんは、有意義な実習だったとは言っています。私は教育実習に参加する前から、指導案を書くのは当たり前のような気がします。今年も幼稚園、小学校、中学校で教育実習があったと思うのですが、学校としてあるいは先生方個人としてお考えになっていることや学校の方針とか感じておられること等はございますか。簡単で結構ですでお話していただくとありがたいです。

幼稚園主任 中学校から職場体験に来ていただきました。今年は、たまたま運動会シーズンと教育実習が重なってしまい、初日はあまり関わることはできなかったのですが、この時期を少し調整できればよかったのかなと思いました。教育実習を数日過ごすことで中学生は意識が変わり3日目になると本当に幼稚園の子どもたちと関われなかった生徒も関われるようになりました。実習後の中学生の感想に書いてくれた中で、「自分が幼稚園で園の先生がこのように考えて園児と接していたということがわかって良かった。」と思いますとありました。

小学校教頭 小学校では1名が教育実習として小学校に来ていただきました。できるだけここに書いてあるブラックのところは見せないようにしようとしたのですが、自然に見えたかもしれませんが、自分たちも運動会の取組の時期でしたので忙しいのは感じたかと思います。一緒に参加していただいたり、昼休みに子どもたちと遊んだりということで、子どもたちとたくさん接することを考えて実習をするように声をかけさせていただきました。定時になればお先に失礼しますと言って帰っていいですよということは伝えておきました。夢がもてるような環境づくりをしました。

中学校教頭 今年4人教育実習に来ていただきました。小学校と同じで、できるだけ生徒について子どもたちと共に過ごすということを指導しました。同じく勤務時間については延長しないよう定時になれば帰るということで指導をしました。せっかく教育実習に来ていただいたので、もう少し授業をやりたいという希望があれば、担当の先生と相談をしてやっていただくようにしました。こちらからやりなさいというようにはしませんでした。更に、せっかく来ていただいたので研修を2つしました。1つ目はアレルギー研修で、2つ目は児童虐待研修です。時間にすると20分間ほどですが行いました。

兼松教育委員 ICT活用ということで、授業を見せていただいて、子どもたちにICTを活用すること、支援をしているというのがよくわかりました。子どもたちがあのように話すというのは素晴らしく、あのような表現ができるということで安心をしました。ただ一方で、母親に自分の気持ちを表現できず、泣きわ

めいたり地団太を踏んだりするという子どもたちも私は魅力を感じます。友達に理解してもらうために、どういった言葉を使って表現すればいいのか映像ではなくてどうすればいいのか、そうすることによって園児は語彙を獲得できるのではないかと思います。継続的にその辺のところも研究して教えてほしいと思います。よろしくお願いします。

幼稚園主任 ICTの活用で指導主事の先生に指導を受けたことは、ICTでできることとできないことはあります。五感に伝えたいことは映像では伝わらないことが多いです。今後はICTの使い方ということで指導を受けました。その辺がこれからの研究になるかと思っています。

兼松教育委員 子どもが速く走るコツを伝えるとき、映像を見せて伝えることも大切ですが、自分の体を使って、腕を速く振ってジェスチャーで表現するというのは素敵だと思います。私は古い人間かもしれませんが魅力を感じます。小学校ですが全国学力・学習状況調査について書かれていますが、結果を教えてください。

小学校教頭 小学校では現6年生が4月に全国学力・学習状況調査が行われました。坂祝小学校は全国平均と比べて少し上回りました。朝活動の帯時間で学習の基礎を定着する時間をとっております。その時間に国語の漢字や算数の学習の習熟等行ったりしているのが少しずつ現れているのではないかと思います。課題として文章を書く力や計算では、文章題に関わる読み取る力をやや弱いのかなということがあります。岐阜県の指導の手引きということで、岐阜県でも同じような傾向がありますので、その点のところを学校で指導して、文章題では必要なキーワードがやはり出てきますので、そのような必要なキーワードを使って文章を書けるよう、例えば授業であればまとめのところで必要なキーワードを使って文章を書くようにしています。

兼松教育委員 教頭先生は全国学力・学習状況調査の実際の問題をやったことがありますか。その感想を教えてください。

小学校教頭 やったことはありますが、文章がとても長いという印象です。やはり最後まで文章を読むことができると回答できるのではないかというような印象です。

兼松教育委員 私もやったことがあります。教頭先生のいうように、丁寧に、粘り強く問題を解く、丁寧に文章を読むということで粘り強くやらないとなかなか回答ができないと思います。やはり文科省がめざす子どもというのは粘り強く、丁寧さをめざしているのではないかと感じます。やはりそこが授業の中で丁寧にされ、粘り強さもつけることが重要ではないかと思っています。もう一つ、私はスクール相談員させていただきます。スクール相談員の小学校にはどのように活用していますか。

小学校教頭 スクール相談員が毎回記録を取りながら指導していますので担当の生徒指導から今日はこのような対応をしましたという報告を受けています。

兼松教育委員 私は美濃加茂市立東中学校でスクール相談員を行っておりますけれども、学校へ登校できい子もいますし、家庭訪問をすると親には会えても、本人に

は会えないこともあり、ジレンマを感じます。中学校の全校福祉活動とありますが、私は池端に住んでおりますが、池端公民館の掃除を中学生の子どもが本当に一生懸命やってくれました。素敵な中学生だと思いました。8人のうち2人がインフルエンザで参加しませんでした。外国籍のお子さんも4人いましたが、池端にいるのだなということがわかりました。中学校で3者懇談を行う際に日本語がわからないご家庭が見えると思いますが、そのお子さんの役割はどのような感じですか。親の中ですか保護者が直接話したい時は子どもを介してではなくて、きっとそういうことはあると思いますが、どのような対応でどんな様子をしていますか。

中学校教頭 外国籍は現在17人です。日本語がしゃべれない子もいます。ブラジルから3年生の途中に来てしゃべれないお子さんもいます。外国籍対応というのはこれからも課題かなと感じております。通訳さんが常駐しておりますので、基本的には通訳さんを通して親と関わることができます。3者懇談に関しては通訳を通して、日程を調整し通訳も者懇談に入らせていただいています。ウェブ出願システムというのが今年から始まりましたが、そういったところも通訳に入らせていただきながら行っております。何とかそういったサポートをしております。ただ学校にできることにも限界があります。学習で使われる日本語が難しいというふうには感じております。

兼松教育委員 先ほど文化発表会のお話をしましたが、これは毎年合唱を通じて学級の成長を示すために行っているのですが、学校で行われているのですか。中央公民館ホールの方が音響は良いと思うのですが、中学生の移動とかを考えると体育館がやりやすいということでしょうか。

中学校教頭 移動の時間とか、運営を考えると学校でできるといいと思います。音響はホールの方があるかに良いとは思いますが、また、ぜひ学校にお越し下さい。

原口教育委員 私も感想になりますが、幼稚園は運動会を見させていただきました。子どもたちが生き生きとしていて、見ているのも楽しいし良かったと思います。運動場に子どもたちが出ている姿があつていいなと思います。何十年も前にもなりますけれども、坂祝幼稚園、静かだねという印象がありましたが、冒険山が危険すぎて子どもに遊ばせることができないということを書いていましたが、昔は、20年も何十年も前のことですが、幼稚園の前を歩いて声がしないということがありましたが、今の幼稚園の前を通ると、いつも子どもたちの笑い声が聞こえて、これがほんとに町の中心になればいいなということを書きました。よい教育をされていると思います。小学校の方ですが、オレンジママの読み聞かせでお邪魔させていただいて、オレンジママの活動の時間が限られておりますが、子どもたちがとっても絵本に対して素直に反応してくれるのは嬉しく思います。大谷選手のグローブはどのような扱いになっていますか。最近、テレビやニュースでやっていますので、坂祝小学校はどうなのかということを知りたいです。

小学校教頭 自分も届くのがとても楽しみです。大谷選手の思いを考えると使って欲しいと思いますので、体育や休み時間に、全校児童に1度は触らせてあげたい

などと思います。興味がない子もいると思いますが、とりあえず触らせてあげたいです。まず、大谷選手を知らない子はもう小さい子にはいるかと思いますが、大谷コーナーを作っていきたいなと思います。私は以前、春里小学校にいました。中日ドラゴンズの勝野選手の母校だったので、勝野選手のご両親が春里小校区に住んで見えますので、お願いして春里小学校のみんなにサインをしてくださいとユニホームとサインボールをいただいて飾ったのがあります。そこから野球だけじゃなくて体力の向上とか挑戦できる子どもたちになってほしいと思います。職員や子どもたちとアイデアを出し合いながら実施していきたいと思います。

原口教育委員 大谷選手の生き方や考え方を伝えてくれればいいなと思います。中学校ですが一生懸命取り組んでいただいて、地域に、地域にと行っていただいて、私たちがふとした瞬間に中学生を見ることができてありがたいと思います。中庭ですが、生徒の意見に聞きながらどうにかしようというふうに聞いていますが、今どのようになっていますか。今後、地域の方にも開放をしてもらえるといいなということを思いました。部活動の方ですが、私の甥が坂祝中学校で卓球をやっていますが、今、冬に入って部活動の時間が少なくなります。部活動に参加している子と参加していない子がいると聞いておりますが、部活動の様子を少し聞かせていただけるとありがたいです。

中学校教頭 中庭については生徒会の意見も大切にしながらどのようにしながら考えていきたいと思います。今、文化発表会に取り組んでおりますので、文化発表会が終わりましたら対応したいと思います。校長や子どもと相談しながらやっていきたいなと思います。部活動につきましては、やる時間については少ないですが、町でかなり地域移行について進めていただきまして、平日の活動時間は少ないですが、平日の夜クラブ活動や例えばテニスとか土日で1日の職員がつかますが、土日のもう1日地域の指導がついて、練習試合をしたりとか指導をしたりとかしてついていただいております。どちらかという部活の時間を増やすというよりも地域につなげていくというようなことになっています。

原口教育委員 日常的に運動に関わっていない子の把握はできていますか。

中学校教頭 部活動所属の割合については2割強です。3割いっていません。あと残りについては、多くの子は地域の活動、ダンスチーム、ウェイクボード、空手等をやっており、地域スポーツ、生涯スポーツ等に参加している子がいます。学校へもこのような大会で活躍したとかという報告があります。ただ全く運動をしていない子もいるので、学校での体育の授業で運動すること等を通して指導しています。

原口教育委員 私も坂祝で育ってきたのですが、坂祝中学校は運動部しかないというような印象がありまして、例えば今回のようにブラスバンドとか招いたりしてくれて、見せていただいたり、演劇部とか何か見せていただいたりということで、文化系なところを情報提供できたらいいなと思いました。昔は部活動に入らないといけないということでしたが、今は子どもたちの主体性をと

いうことで自由に自分がやりたいことになっていますが、3年間何もやらずに過ごしてしまったということがないようにしてほしいと思います。

報告第39号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

兼松教育委員 仕事の本が回ってきていますが、これもいろいろな職種や勤労感を養う事は必要だと思いますし、子どもにとっていろいろな職種があるというのはわかるのでよいと思います。一方、本当に学校でやらなければならないことはどのようなことでしょうか。先程言ったように職業とか知るとは、例えば、電車の運転手になりたいと言った場合に、何年か先には、その職業はなくなっているという場面もあるし、先ほど教育長が言われたようにほとんどコンピュータでやられているということに困っているかもしれませんから学校でやるというのは、丁寧にできる、粘り強くできる、そういった子を育てていかなければならないと思います。それがキャリア教育につながるのではないかと感じています。

教育長 このキャリア教育については、小学校から中学校、中学校から高校のキャリアパスポートがずっと高校まで持ち上がるようにファイルが子ども一人一人にあります。生徒がこの年に学んだことや将来設計を書くところがあり、最終的に担任の先生や校長も見て、更に次の学校に送っていくとなっています。岐阜県教育委員会は、そのような制度になっているので力を入れています。

日程第5 その他

- 当面する教育関係諸行事について
- その他

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前11時20分